

埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

第49回 埼玉県医学検査学会のお知らせ

開催方式：ハイブリッド

(現地開催+Webオンデマンド配信)

開催日：令和3年12月5日(日)

会場：大宮ソニックシティ

テーマ：前進

サブテーマ：～新・時代への発信～



学会公式LINE
アカウント

第49回 埼玉県医学検査学会
学術部 岡倉 勇太

5月に入り、新緑の輝く季節となりました。

第49回埼玉県医学検査学会で学術担当をしております戸田中央臨床検査研究所の岡倉勇太と申します。

皆さまもご存知の通り、埼臨技だよりでは前月号から学会ロゴマークを掲載しております。今回のロゴマークは学会テーマである「前進」～新・時代への発信～から考え作成しました。withコロナ時代の中、後退することなく前に進む決意と共に、これからの臨床検査の“前進”とハイブリッド開催という新しいスタイルの“発信”を思いに込めました。会員の皆さまにとって親しみやすいと感じていただけましたら幸いです。

また、演題・抄録登録が5月1日(土)より開始しております。詳細は学会ホームページをご確認ください。たくさんの演題をお待ちしているとともに、皆さまのご協力をお願い申し上げます。さらに今月号では初めて学会発表をされる方へ、抄録作成のポイントをご紹介します。

抄録作成のポイントについて

第49回 埼玉県医学検査学会
学術部 内田 真仁

第49回埼玉県医学検査学会で学術を担当しております、川口市立医療センターの内田真仁と申します。今回、抄録作成のポイントについてお伝えさせていただきます。「抄録」とは、学会発表や

論文を投稿する際の研究内容を短くまとめたものです。要点を押さえた抄録があることで、学会参加者や論文の読者が研究テーマや論文の発表内容を把握することが出来ます。具体的な抄録の流れですが、「背景・目的」、「方法」、「結果」、「考察・結語」から構成されます。

- ◇ 背景・目的：発表をするに至った経緯、また研究により明らかにする事柄を述べます。
- ◇ 方法：目的を達成するための手順や評価方法について記載します。
- ◇ 結果：方法より得られた数値等の客観的な結果を記載します。
- ◇ 考察・結語：結果から導かれた結論と全体の要約を記載します。

今回は端的にお伝えしましたが、諸先輩方の過去の抄録を読むことが最も良い参考資料になるかと思ひます。作成した抄録は必ず先輩や上司に確認していただき、誤字脱字はもちろんのこと、的確な表現や言い回し等を指導して下さるかと思ひます。

なお抄録は、日本臨床衛生検査技師会総合情報システム (JAMTIS) を用いた入力方式、ファイルアップロード方式のいずれかで作成してください。ファイルアップロード方式で使用するMicrosoft Wordファイルは、学会ホームページからもダウンロードできます。詳しくは、学会ホームページをご覧ください。

皆さまの多数の演題登録を楽しみにお待ちしております。



研究班研修会報告

テーマ **Let's供覧!!** ― あなたはどう見る? Part.10 ―

主催 細胞検査研究班

実施日時：令和3年2月19日 18時00分～19時00分

会 場：Web開催 点数：専門教科－20点

講 師：細胞検査研究班班員

参加人数：会員73名

出席した研究班班員：加藤智美 山崎泰樹 鶴岡慎悟 船津靖亮 松内萌 急式政志
稲山拓司 野本伊織 猪山和美

研修内容・感想など

<概要>

精度管理も兼ねたスライドセミナーとして開催。今回は精度管理を意図した出題傾向に加え、日常性を重視した症例を出題した。設問1つにつき2枚の写真を提示。各施設、個人でクエスタントを利用して事前解答をしてもらい、当日は事前解答の集計をもとに、鶴岡技師、稲山技師が解説を行った。また設問ごとに個人・施設別・経験年数別による統計をとり、正答率や傾向を分析した。今回の結果を参考とし今後の研修に活かしていきたいと考えている。

<当日のスケジュール>

18:00～ 解説 (前半5問) 開始

18:30～ 解説 (後半5問) 開始

19:00 研修会終了

(文責：猪山和美)

テーマ **自己血の実際と活用**

～ 自己血の課題と対応を現場から学ぼう ～

～ 自己血FFPの広がる活用を学ぶ ～

主催 輸血検査研究班

実施日時：令和3年2月25日 19時00分～20時00分

会 場：Web開催 点数：専門教科－20点

講 演 1：自己血輸血の豆知識 ～皆で自己血を考えよう～

講 師：塚原 晃 氏（戸田中央総合病院）

講 演 2：当センターにおけるクリオプレシピテート製剤の作成方法と運用

講 師：清水 咲子 氏（自治医科大学附属さいたま医療センター）

参加人数：会員68名

出席した研究班班員：久保居由紀子 渡邊一儀 小原佑太 宮澤翔子 岸健太

研修内容・感想など

今回の研修会は自己血の実際と活用という主題で、自己血の実際の現場についてとFFPから作成するクリオプレシピテートについての講演であった。

前半では『自己血の豆知識～皆で自己血を考えよう～』について、自己血の目的や注意点を中心に話があり、講演された塚原氏は埼玉県合同輸血療法委員会や自己血輸血小委員会等で委員として活躍されている方なので、看護師からの質問・医師からの質問など多方面から考えられる疑問に対する解答を一つずつ分かりやすくお話しされた。多くの施設がある中で、貯血に立ち会う施設や製剤の管理のみを行う施設など様々な運用があると思うが、貯血前に確認すべき事項・貯血中に考えられる事体に対する対応・貯血後の製剤管理・自己血を輸血するにあたっての注意点等、様々な知識および技術を身につけておく必要がある。塚原氏の講演は現場目線からの内容であったため、今後のルーチン検査に多くのことが得られたと考えられる。

後半は清水氏より『クリオプレシピテート製剤の作成方法と運用』のテーマで、クリオプレシピテート製剤の作成・運用方法についての講演であった。大量出血時にはフィブリノゲンが低下しやすく、低下することによりさらに出血を起こしやすくなるため、早期にフィブリノゲンを補充する必要がある。クリオプレシピテート製剤の投与が患者の出血量にも多大なる影響を与える。しかし、クリオプレシピテートの作成には整備された環境や必要な備品も多く、簡単に導入することが難しいのが現状である。大学附属病院の状況を知ることにより、導入可能な施設が増えることが今後期待される。

今回の研修会を通じて、自己血に関して他施設でどのように行っているのかを聞くことができ、得られた情報や知識を今後の業務に役立ててほしい。

(文責：宮澤翔子)

**令和3年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第1回 理事会議事録**

日時：令和3年4月8日(木) 19時00分より

場所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出席：現地にて出席

(理事) 神山 松岡 猪浦 濱本 長澤
山口 伊藤 笹野 松寄 塚原
石井 神戸 長谷川

(監事) 遠藤

Zoomにて出席

(理事) 長岡 飯野 阿部 久保田
菊池

欠席：(理事) 矢作 小山 神嶋 松尾
(監事) 細谷

本日の理事会の出席者は19名であった。理事の出席者は18名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、神山清志会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告 (令和3年3月11日～令和3年4月7日)

3月11日(木) 令和2年度第14回理事会：

神山、矢作、松岡、猪浦、小山、濱本、山口、神嶋、松尾、伊藤、笹野、塚原、松寄、石井、神戸、阿部、長岡、久保田、長谷川、飯野、遠藤、細谷

3月10日(水) 日臨技認定審議会：神山

3月18日(木) 埼玉県精度管理委員会：神山

3月19日(金) 第49回埼玉県医学検査学会第6回実行委員会：神嶋、飯野

3月20日(土) 日臨技検体採取指定講習会：
神山、阿部、長谷川、塚原

3月21日(日) 日臨技検体採取指定講習会：
神山、阿部、長谷川、神戸

3月22日(月) さいたま市精度管理委員会：神山

3月24日(水) 日臨技政策推進WG会議：神山

3月25日(木) 公益法人インフォメーション入力作業：小山、長澤

3月25日(木) 令和2年度埼玉県臨床検査精度管

理調査事業報告会：山口

3月26日(金) 日臨技支部長連絡会議：神山

3月26日(金) 日臨技理事会事前会議：神山

3月27日(土) 日臨技理事会：神山

3月27日(土) 会計部 会計作業：
石井、阿部、神戸

3月29日(月) 日臨技診療報酬制度対策委員会：
神山

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1) 3月20日(土)、21日(日)に開催された日臨技検体採取指定講習会に、神山清志会長、阿部健一郎常務理事、長谷川隆理事、塚原晃理事、神戸考裕理事を派遣した。

(別紙資料1)

2) 日臨技定時総会役員として資格審査委員に矢作強志副会長、書記に小山博史事務局長を推薦した。

3) 3月29日(月)、会員に向け一斉メール送信をおこなった。メール不達者には4月の埼臨技だよりにメールアドレス設定変更のお願いを同封することとした。

4) 3月31日(水)、公益インフォメーションに令和3年度事業計画を提出した。

2 総務部

1) 2月3日(水)、第2回青年部委員会会議を行った。(別紙資料2)

2) 2月26日(金)、第3回青年部委員会会議を行った。(別紙資料3)

3) 4月15日(木)、埼臨技だより503号発行予定

3 事業部 特になし

4 学術部

1) 生涯教育プログラム6・7月分を埼臨技だより4月号に同封予定。

2) 4月24日(土)と5月8日(土)に理事・研究班合同会議を設定した。

3) 公衆衛生研究班員の退任に伴い、公衆衛生研究班の会計担当者が田崎恵氏(彩の国東大宮メディカルセンター)に変更となった。

5 精度保証部 特になし

6 会計部

1) 令和2年度正会員費1名5,000円、入会金1名分1,000円、令和3年度正会員費3,040名15,200,000円、入会金6名分6,000円、再入会金2名分2,000円、合計15,214,000円の入金があった。

2) 埼玉県医師会より精度管理事業オープン調

査1,250,544円、ブラインド調査845,000円、合計2,095,544円の入金があった。

- 3) 医学中央雑誌刊行会より2020年分の文献許諾使用料として440円の入金があった。
- 4) 石井印刷に第32回臨床検査精度管理事業報告書再販CD-R代128,700円、埼臨技会誌Vol.67-No.3印刷代379,555円、埼臨技だよ第502号印刷代154,770円、仕訳費21,846円、合計684,871円を支払った。

7 精度管理委員会

- 1) 令和2年度埼玉県臨床検査精度管理調査事業報告書の全施設の差替えが完了した。
- 2) 3月25日(木)、令和2年度埼玉県臨床検査精度管理調査事業報告会をWebにて開催した。(参加人数:会員165名、非会員35名計200名)

8 一都八県会長会議 特になし

9 日臨技関甲信支部 特になし

10 日臨技 特になし

11 第49回埼玉県医学検査学会

- 1) 3月19日(金)、第49回埼玉県医学検査学会実行委員会を行った。(別紙資料4)

III. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向(令和3年度分)
令和3年4月1日現在
会員数 3,191名[令和2年度会員数3,214名]
(新入会員 31名)
賛助会員 27社[令和2年度 78社]
承認された。

2 総務部

- 1) 第50回埼玉県医学検査学会学会長について
上記の件について、山口純也総務部長より発言があり、審議の結果、令和3年度定時会員総会に神山清志会長を第50回埼玉県医学検査学会学会長候補者として上程することで承認された。

3 事業部 特になし

4 学術部

- 1) 公衆衛生検査研究班班員の退任について
職場退職のため、石井孟氏(川口市立医療センター)を令和2年12月31日付で退任としたい。
上記の件について、長岡勇吾学術部長より発言があり、審議の結果、承認された。
- 2) 研究班運営マニュアルへの書式27講師料・日当確認書追加について(別紙資料5)
上記の件について、長岡勇吾学術部長より

発言があり、審議の結果、承認された。

5 精度保証部 特になし

6 会計部 特になし

7 精度管理委員会 特になし

8 第49回埼玉県医学検査学会

- 1) 第49回埼玉県医学検査学会からの上程事項について(別紙資料6、7)

上記の件について、飯野望理事より発言があり、審議の結果、JAMTIS学術権限の付与、学会公式LINEの開設、委員会開催のためのZoomアカウント使用について承認された。賛助会員への趣意書については公文書の様式に沿って作成し、学会予算書については令和2年度臨時会員総会で提示した資料を参照し作成することで承認された。

IV. 議題

1 事務局

- 1) 令和3年度埼臨技定時会員総会議案書について(別紙資料8)

上記の件について、長澤英一郎事務局次長より発言があり、審議の結果、可決された。

- 2) 令和3年度定時会員総会役員について(別紙資料9)

上記の件について、長澤英一郎事務局次長より発言があり、審議の結果、可決された。

- 3) 埼臨技功労賞について

武関雄二氏(第48回埼玉県医学検査学会学会長)を推薦したい。

上記の件について、長澤英一郎事務局次長より発言があり、審議の結果、可決された。

2 総務部 特になし

3 事業部 特になし

4 学術部 特になし

5 精度保証部 特になし

6 会計部 特になし

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。



令和3年度埼臨技会員名簿作成についてのお願い

1. 新入職員の会員登録はお済でしょうか？

令和3年5月31日(月)の登録情報をもとに名簿作成いたします。名簿掲載希望の方は期日までに登録をお願いします。

2. 勤務先が変わった方、登録変更はお済でしょうか？

今年度より異動等で勤務先が変わった方、勤務先の変更はお済でしょうか？まだの方は日臨技ホームページの会員のページより勤務先変更を速やかに行うと共に、埼臨技事務所にご連絡ください。

埼臨技への連絡がないと郵便物の配送や各連絡が前施設へ届くこととなり、お互いに迷惑を被ることとなります。皆様のご理解及びご協力をお願いいたします。

3. 令和3年度会員名簿の配布および名簿不掲載のお申し込みについて

埼臨技会員名簿はCD(コンパクトディスク)で作成し、配布は会員の所属する施設および賛助会員に1部、各研究班に2部とし、会員個人には希望される方のみ配布いたします。

個人会員で名簿の配布を希望される方、また会員名簿への不掲載を希望される方につきましては、下記の通りお申込みいただきますようお願いいたします。なお、以前より不掲載を希望されていた方につきましては、本年度も継続いたしますので連絡は不要です。

また、発行するCDは個人情報保護のためファイルのコピー、印刷は出来ませんのであらかじめご了承ください。

申込期限：令和3年5月31日(月)

メールまたはFAXでお申込み下さい。

件名(標題)を「勤務先変更」、「名簿配布希望」または「不掲載希望」として、会員番号および氏名、勤務先変更の場合は新勤務先を送信して下さい。

連絡先：公益社団法人埼玉県臨床検査技師会事務所

TEL：048-824-4077 FAX：048-824-4095

E-mail：sairingi@sairingi.com



あ と が き

花 鳥 風 月

花鳥風月の意味には『自然界の美しいものや景色のこと』『自然の風物を題材に、詩歌や絵画を創作するなどして風雅な趣を楽しむこと』があるそうです。

私自身、若い頃は全く気にもしなかった花を、数年前から愛でること(職場の隣にある公園のソメイヨシノは一人ランチを、休日は近所を散歩がてらの草花などを楽しむ)が多くなったような気がします。そう言えば、ある年配の方が『最初は花見で酒を飲み、次は鳥をみて、その次は風景、最後は月見で一杯って言っていたような・・・』。ああ、私も花を楽しむ初老?となったということですかねえ。今は、コロナ禍で以前の娯楽が出来ませんが、近所の花や鳥、季節が変わりゆく風景を小さな楽しみに、いつかは月見酒を楽しめる酒柱(鬼滅の刃ね)になれるよう日々の業務に精進したいと思います。

(阿部 記)

